

平成24年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県立陽光園
指定管理者	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
共同体である場合の構成員	
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する評価についての意見	<p>管理基準の充足状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理は適正に行われている。 専任職員の増員や地域のボランティアの導入で個別活動の充実を図っている。また、正規職員化にも一定の評価すべき努力がみられる。 職員の研修に積極的に取り組んでいるところは評価できる。質の高いサービス提供のためには職員の専門性が重要であるが、部会活動の研修が専門性向上にどのような役割があるか不明確。 個別支援計画を月ごとに利用者に確認しながら、要望をとりいれ評価し、利用者の満足度につながっていることは評価できる。さらに家族の意向も半年に1度聞いていることも評価できる。 日中活動の読み聞かせの内容など、利用者のニーズに配慮できるよう、ボランティアとの十分な打ち合わせが重要といえる。 職員研修による質の向上に務めて、一定の成果を上げているが、自己評価だけでなく、サービスの質がどのように変わったのかを評価できる指標があるとさらに効果的である。 <p>設置目的の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数は充足している。 自主事業として、居宅介護支援事業、地域生活支援事業の展開は地域への貢献度が大きいといえる。 地域24時間のセーフティネットとして、相談事業、交流サロンを開催していることは評価できる。 地域移行希望者が多い施設であるが、24年度はケアホーム見学を実施したのみでそれ以上の進展がみられず、取り組みが遅々としている。 <p>公共性の確保の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に夜間・昼間の避難訓練を実施して、防災意識の啓発に努めている。 自治会活動、施設長との懇談会等、利用者の意見を反映させる機会や場を多様にしている姿勢は評価できる。 <p>経営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営状況は概ね適正である。ただし、収入額に対する経理区分間繰入金支出（事業団本体への繰入）の限度はどの程度なのかを議論する必要があるのではないか。 <p>その他派生的効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くのボランティアを受け入れている。 利用者の生活の質が向上される支援ボランティア（例えば外出支援）に取り組んでもよい時期ではないか。
県の評価	・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。